

平成29年度 関東甲信越地区母子保健事業研修会 開催要領  
研修テーマ 『妊娠期から切れ目なく母子を支えるために

～妊産婦メンタルヘルス支援について考える～』

1 目 的

日本の周産期医療は、急速に改善し、周産期死亡率、新生児死亡率、乳児死亡率、妊産婦死亡率などの指標は世界のトップクラスになっている。しかしその一方で、子どもの虐待や周産期の精神障害など、周産期をめぐる心理的問題が増加している状況にある。周産期は親と子の絆を育てるかけがいのない時期であるが、育児環境の要因も加わり関係性が悪化することもある。周産期のメンタルヘルス支援を行うことは虐待予防にもつながる。将来を担う子どもたちが心身ともに健やかに育つことは何よりも重要であり、その周産期の母子を取り巻く問題の解決に向けての取り組みが求められている。

健やか親子21（第2次計画）でも、「すべての子どもが健やかに育つ社会」を目指して、その基盤の一つとして「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策」が掲げられている。妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を行うためにも妊娠期からの母子保健と精神保健を統合した支援や保健・医療連携による支援が重要である。

本研修会を通じて、母子保健領域における関係者等が切れ目ない妊産婦に対するメンタルケア及び子どもの支援について学び、安心・安全な妊娠・出産の確保と子どもの健やかな成長や児童虐待の未然防止を目的とする。

2 日 時 平成29年11月10日（金）午前9時30分から午後4時

3 会 場 山梨県庁 防災新館 4階409・410会議室  
（山梨県甲府市丸の内1-6-1）

4 主 催 山梨県 一般社団法人日本家族計画協会

5 後 援 厚生労働省 公益社団法人日本助産師会

6 内 容 別紙プログラムのとおり

7 対 象 行政機関・医療機関等において母子保健事業に関わる者等

8 定 員 110名

9 参 加 料 無料

10 申込期限 平成29年10月20日（金）

11 申込方法 下記申込先まで、参加申込書をFAX又はメールにて送付

12 申 込 先 山梨県福祉保健部健康増進課母子保健・難病担当 担当：渡辺・堀内  
（問い合わせ先） 電話：055-223-1496 FAX：055-223-1499  
E-mail：horiuchi-vtz@pref.yamanashi.lg.jp

送信先：山梨県 福祉保健部  
健康増進課 母子保健・難病担当 堀内  
FAX：055-223-1499  
E-mail：horiuchi-vtz@pref.yamanashi.lg.jp

※ FAX 送信票は不要です。

※ 申込期限 平成29年10月20日(金)

平成29年度 関東甲信越地区母子保健事業研修会  
(11月10日)参加申込書

都・県・市区町村名

所 属 課 所

電 話 番 号

担 当 者

次のとおり研修会への参加を申し込みます。

平成29年 月 日

|   | 職 名 | 氏 名 | 職 種 | お弁当注文<br>※ご希望の方は、<br>○を御記入ください。 |
|---|-----|-----|-----|---------------------------------|
| 1 |     |     |     |                                 |
| 2 |     |     |     |                                 |
| 3 |     |     |     |                                 |
| 4 |     |     |     |                                 |
| 5 |     |     |     |                                 |
| 6 |     |     |     |                                 |

【平成 29 年度関東甲信越地区母子保健事業研修会プログラム】

|             |  |
|-------------|--|
| 9:00～ 9:30  | 受付   |
| 9:30～ 9:40  | 開会・あいさつ  |
| 《第Ⅰ部》       |  |
| 9:40～10:20  | 行政説明<br>「最近の母子保健を取り巻く状況」<br>厚生労働省子ども家庭局母子保健課   |
| 10:20～12:00 | 講演<br>「妊娠期・産後・育児期に起こりやすい母親の<br>メンタルヘルスの支援について」<br>国立成育医療研究センター こころの診療部<br>乳幼児メンタルヘルス診療科医長 立花 良之 氏                |
| 12:00～13:00 | 昼 食  |
| 《第Ⅱ部》       |  |
| 13:00～13:40 | シンポジウムテーマ「妊娠期からの切れ目ない支援体制」<br>「山梨県産後ケア（センター）の事業について」<br>県福祉保健部健康増進課長 岩佐 景一郎<br>健康科学大学 産前産後ケアセンター<br>センター長 榊原 まゆみ |
| 13:40～13:50 | 休憩   |
| 13:50～14:30 | 「医療機関と町の母子保健事業の連携により妊娠・出産・育児を支える体制づくり」<br>富士河口湖町役場 子育て支援課 課長補佐 高山 美恵<br>山梨赤十字病院 看護師長 田中 みや子                      |
| 14:30～14:40 | 休憩   |
| 14:40～15:00 | 「妊娠期からの切れ目ない支援～甲斐市版ネウボラ～」<br>甲斐市役所 健康増進課 課長 長坂千恵子  |
| 15:00～15:40 | 全体討論（質疑応答）<br>助言<br>国立成育医療研究センター こころの診療部<br>乳幼児メンタルヘルス診療科医長 立花 良之 氏  |
| 15:40       | 閉会   |
| 15:40～15:50 | アンケート記入  |